

令和7年度伊賀市の決算

伊賀市議会9月定例会月会議で、令和7年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算が認定されました。今回はその概要をお知らせします。※端数処理の関係で、決算書の数値と一致しない場合があります。

問財課
FAX 2422・296408
2422・296408
08


市有財産の状況

区 分		土 地	建 物	主な施設
行政財産	公用財産	96,264㎡	28,701㎡	庁舎、消防施設など
	公共用財産	3,683,845㎡	449,450㎡	学校、図書館、公営住宅、公園など
普通財産		2,831,543㎡	20,104㎡	上記以外（山林など）
合 計		6,611,652㎡	498,255㎡	

特別会計

市には、国民健康保険事業など5つの特別会計と2つの財産区会計があります。特別会計全体の基金残高は約24億円で、前年度と比べると約8,830万円増加しています。

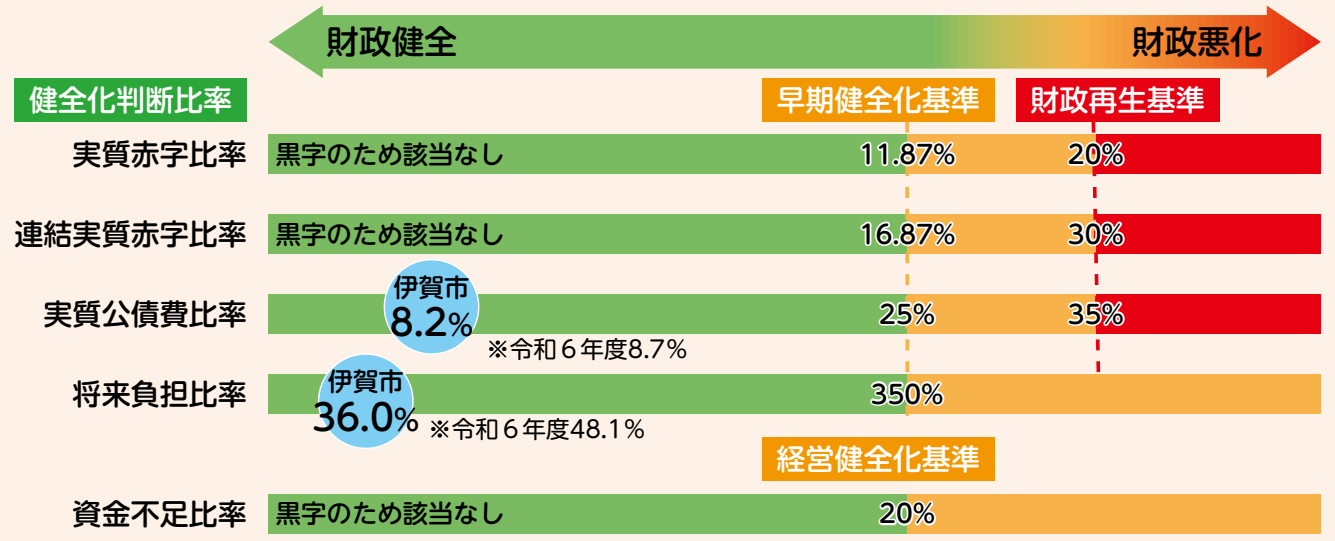
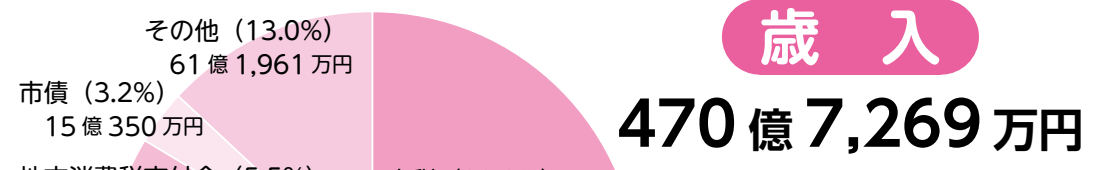
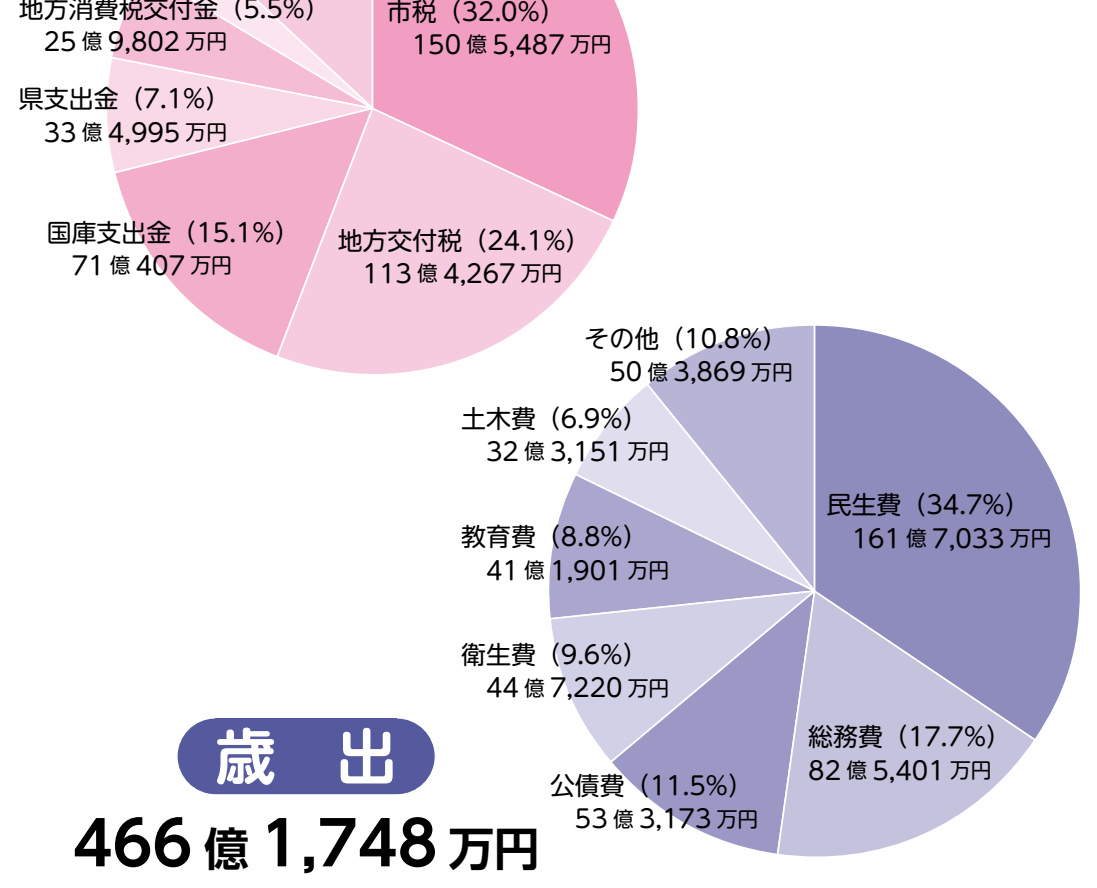
区 分	会計名	歳入額	歳出額	差引額	基 金
特別会計	国民健康保険事業	84 億 5,858 万円	83 億 9,488 万円	6,370 万円	4,072 万円
	駐車場事業	3,507 万円	3,506 万円	1 万円	—
	介護保険事業	104 億 9,085 万円	104 億 829 万円	8,256 万円	18 億 2,815 万円
	サービスエリア	968 万円	870 万円	98 万円	5,890 万円
	後期高齢者医療	16 億 9,822 万円	16 億 6,251 万円	3,571 万円	—
財 産 区	島ヶ原財産区	3,116 万円	2,985 万円	131 万円	3 億 3,043 万円
	大山田財産区	1,375 万円	1,327 万円	48 万円	1 億 5,304 万円
合 計		207 億 3,731 万円	205 億 5,256 万円	1 億 8,475 万円	24 億 1,124 万円

財政の早期健全化・再生に関する指標（財政健全化法に基づく指標）

健全化判断比率は、地方公共団体の赤字の大きさ（実質赤字比率、連結実質赤字比率）や借金返済額の大きさ（実質公債費比率）、将来に負担が見込まれる実質的な負債の大きさ（将来負担比率）を指標化したものです。

より改善していて、市債償還が進んだことなどが要因となります。また、すべての指標において早期健全化基準・財政再生基準を下回っていて、健全な財政状況を維持していると言えます。この基準を超えると、健全化に向けた対策が必要となります。

実質公債費比率・将来負担比率ともに昨年度数値

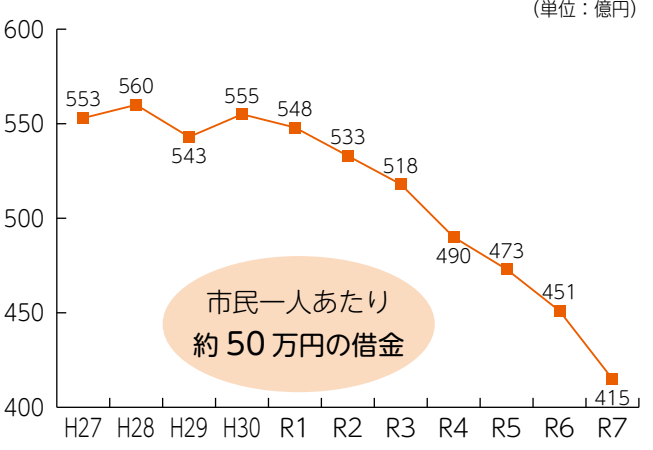


〈概 要〉
昨年度よりも市税収入や地方交付税が増加し、市の借金の減少などにより、令和7年度の実質収支は**3 億 4,920 万円の黒字**となりました。これからも健全な財政運営*を行っていきます。*基準となる指標は9ページに記載

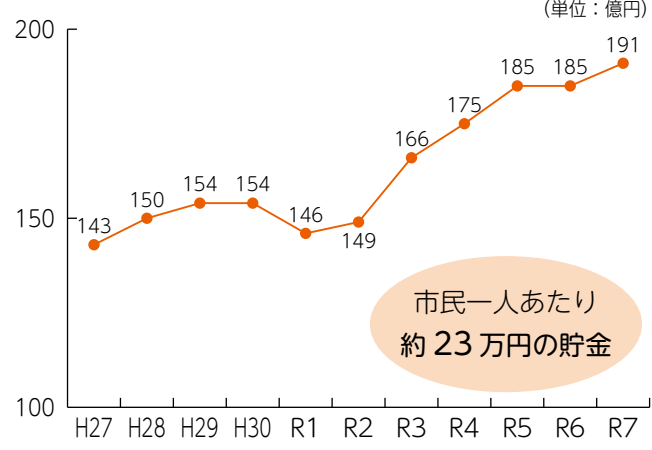
主な事業

妊婦支援給付金	4,191 万円	旧青山支所跡地整備事業	1 億 479 万円
不登校児童生徒支援事業	678 万円	伊賀鉄道活性化促進事業	1 億 6,095 万円
情報化教育推進経費	4 億 9,617 万円	移住・交流推進事業	3,617 万円
		ごみ処理広域化検討事業経費	2,524 万円

市債残高（市の借金）



基金残高（市の貯金）



病院事業

問 上野総合市民病院病院総務課 ☎ 24-1111 FAX 24-1565

本館地下冷温水発生機改修工事や本館地下厨房排気ファン更新工事などの施設改修、デジタルX線TVシステムや腹腔鏡手術装置などの医療機器を購入するなど、医療機能の充実に努めました。

経営状況は、医業収益は入院患者数の増加などで前年度を上回りました。しかしながら、人件費や材料費

などの高騰により医業費用も前年度を上回ったことなどにより、純損失を生じることとなりました。

今後も医療サービスの向上と良質で高度な医療の提供、福祉の増進に努めるとともに、運営の効率化を図りながら、市民の負託に応えることができる病院をめざします。

■病院事業の決算（消費税・地方消費税を含む。）

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差 引	
病院事業収益	56 億 6,535 万円	52 億 5,836 万円	—	増減額	4 億 699 万円
病院事業費用	56 億 5,849 万円	55 億 657 万円	—	不用額	1 億 5,192 万円
資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差 引	
資本的収入	5 億 2,366 万円	3 億 5,656 万円	—	増減額	1 億 6,710 万円
資本的支出	6 億 4,970 万円	4 億 8,595 万円	7,117 万円	不用額	9,258 万円

■市債残高 12 億 3,908 万円

水道事業

問 上下水道部経営企画課 ☎ 24-0001 FAX 24-0006

四十九町地内で重要給水施設配水管事業を、山畑地内で導水管・送水管耐震化事業を実施し、川東、桐ヶ丘地内などでは配水管更新事業に取り組みました。また、小田浄水場北部配水池向3号送水ポンプ更新工事などに着手するなど、老朽化が進む設備機器を更新し、安定して水道水を供給できる環境を整備しました。

また、物価高騰による経済的影響を軽減する支援策として、水道基本料金2カ月分の半額減免を行いました。

昨年度に引き続き利益を生じることができましたが、施設・設備の維持管理経費の増加などにより、利益は減少傾向にあります。今後も安心・安全で良質な水道水を安定的かつ持続的に供給できるよう取り組みます。

■水道事業の決算（消費税・地方消費税を含む。）

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差 引	
水道事業収益	31 億 7,987 万円	31 億 9,087 万円	—	増減額	▲ 1,100 万円
水道事業費用	32 億 802 万円	30 億 6,119 万円	5,250 万円	不用額	9,433 万円
資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差 引	
資本的収入	12 億 962 万円	6 億 32 万円	—	増減額	▲ 6 億 930 万円
資本的支出	24 億 4,633 万円	17 億 7,255 万円	5 億 6,991 万円	不用額	1 億 387 万円

■市債残高 89 億 6,885 万円

下水道事業

問 上下水道部経営企画課 ☎ 24-0001 FAX 24-0006

公共下水道事業では、上野新都市浄化センターの汚泥処理設備更新工事などの実施やストックマネジメント実施計画の策定、ウォーター PPP の導入検討を行いました。また、農業集落排水中矢地区と上三ヶ地区を特定環境保全公共下水道島ヶ原処理区へ統廃合するため、中矢工区の管路工事などに着手しました。

農業集落排水事業では、西山地区を西高倉地区へ統廃合するため、中継ポンプ施設工事などを実施しました。

昨年度に引き続き利益を生じることができましたが、施設・設備の維持管理費の増加などにより、厳しい経営状況となっています。今後も下水道普及率の向上と公共用水域の水質保全に取り組みます。

■下水道事業の決算（消費税・地方消費税を含む。）

収益的収支	予算額	決算額	繰越額	差 引	
下水道事業収益	23 億 5,522 万円	23 億 3,603 万円	—	増減額	▲ 1,919 万円
下水道事業費用	23 億 6,711 万円	22 億 5,040 万円	165 万円	不用額	1 億 1,506 万円
資本的収支	予算額	決算額	繰越額	差 引	
資本的収入	11 億 9,911 万円	8 億 1,696 万円	—	増減額	▲ 3 億 8,215 万円
資本的支出	21 億 8,134 万円	17 億 280 万円	4 億 248 万円	不用額	7,606 万円

■市債残高 97 億 8,593 万円